

秋葉区児童館設置に伴う区民向けワークショップ(概要)

(2025 年 11 月 24 日 @新津健康センター)

●参加者からの主な意見

- ・ 毎週の休館日は不要ではないか。
- ・ 21、22 時まで利用できるようにしてはどうか。
- ・ 保護者にもアンケートが必要ではないか。
- ・ 秋葉区総合体育館と提携して、運動スペースを考えてほしい。
- ・ 中学校区に 1 つずつ設置できないか。
- ・ 吹き抜けを利用してアスレチックを作ってはどうか。
- ・ 事務を行う場所はどうするか。
- ・ 区民向けの意見を聞く機会を今後予定しているか。
- ・ 一般市民へのアンケートを今後、予定しているか。
- ・ 健康センターの短所とされているところを今一度整理してもらいたい。

●ワークショップ(主な意見)

どんな子ども・家族が	どんなときに、(誰と) どんな風に使うか	なにがあるとよいのか(モノ)	どんなことがあるとよいのか
・居場所・つながりを必要としている子ども ・学校・制度の変化によって時間や居場所がなくなっている子ども ・多様性・インクルーシブな配慮が必要な子ども ・家庭の事情により支援や柔軟な場が必要な子ども・家族	・友達と／グループで集まる場所として ・一人でも安心して過ごせる場所として ・体を思いきり動かす場所として ・学習・勉強・支援の場として ・親子・保護者の居場所・交流の場として ・日常のすきま時間・長期休暇の受け皿として	・運動・身体を動かす設備 ・音楽・表現活動の場 ・学び・遊び(室内活動) ・創作・ものづくり ・くつろぎ・安心空間 ・乳幼児・配慮空間 ・生活・利便設備 ・心と相談の場 ・食・つながり ・デジタル・情報支援	・安全・安心の仕組み ・子ども主体の運営 ・創作・ものづくり・表現 ・食・調理・共有の場 ・学び・知識・相談 ・交流・イベント ・居場所・コミュニケーション ・自然・屋外活動 ・運営体制・人の力

●まとめ

誰もが安心して来られる居場所として、遊ぶ・学ぶ・つながる機能を備え、子どもが主役となって活動し、地域と関わりながら成長できるような児童館を目指す。